

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	波佐見陶器まつり 60周年記念事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	波佐見町	商工振興課	馬場真琴	0956-85-2111
事業期間	開始年	平成30年 4月 2日 (1年目)		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	(開始日) 平成30年 4月 2日 (完了日) 平成31年 3月 31日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	波佐見陶器まつり協会		山下雅樹	0956-85-2214
	(委託内容) 波佐見陶器まつり 60周年記念事業の実施に係るすべての運営業務			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	町民ほか全国からの来場者		60周年という節目の年にあたり、伝統的な波佐見焼を基盤としながら、伝統の技の中に常に時代の変化に合わせて進化してきた「波佐見焼」の祭典として、陶器まつり自体も更なる進化をしていく必要があることから、新たな来場者層の獲得と波佐見町の看板イベントとしての充実を図るため、町及び産地をあげた取り組みを実施します。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	チラシ・ポスター等の作成やテレビCMやSNSを活用した告知のほか、東京ドームテーブルウェアフェスティバル里帰り展、波佐見焼陶芸展の記念イベント等を実施し、新たな来場者層の獲得とイベントの充実に向け、町及び産地一体となったPRを行います。 ① 東京ドームテーブルウェアフェスティバル里帰り展の開催 ② 波佐見焼陶芸展、陶器まつりフォトコンテストの開催 ③ ろくろ・絵付け体験 ④ メイン会場へのシャトルバスの運行 ⑤ 波佐見高校美術工芸科と連携したポスター・チラシ等の作成・発送、TV・新聞等PR費用 他			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景) 60周年の節目の年にあたり、新たな来場者層の獲得と波佐見焼の更なる知名度向上に向け、波佐見町の看板イベントとしての充実を図り、町民及び産地が一体となった取り組みを行う。			
	(経緯・現状) 長崎県最大のやきものの祭典として、来場者も年々増加傾向にある。一方で、受け入れ態勢の整備やイベント内容の充実が課題となっており、波佐見焼を更にPRする上で町民一体となった取り組みが必要である。60周年という節目の年にあたり、お客様のニーズに合わせた楽しめるイベントとして、陶器まつり自体も更なる進化をしていく必要がある。			

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）				4,025,000				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金			2,000,000				
	一般財源			2,025,000				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	若者からお年寄り、外国人まで楽しめる波佐見町の看板イベント	町内・町外を含む全来場者数	人	目標	310,000	310,000	325,000
					実績	298,000	322,000	329,000
				目標達成率(%)	96.1	103.9	101.2	
	②				目標			
					実績			
				目標達成率(%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input checked="" type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
	妥当性低い (ー) 妥当性高い (+) 		(影響内容、程度等) 町にとっても窯業界にとっても看板イベントであり、33万人もの集客がある大イベントであることから、廃止・休止は考えられない。

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		波佐見焼の知名度向上のため、官民協働して取り組みを行っている成果が表れてきている。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日	平成 31 年度	国内のほか、外国人などの新たな客層の獲得やそれに対応できる受け入れ態勢の整備、お客様が安心してくつろげて楽しめるイベントを目指すことで更なる集客の増加が見込める。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		ここまでの規模のイベントは町内に他にない。		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		すでに民間を中心とした波佐見陶器まつり協会が事業を実施しており民間主導行政サポートの考え方は変わらない。 (波佐見陶器まつり協会を組織しており、構成団体は陶磁器業界の各種組合や商工会、観光協会など民間の力を結集してイベントを盛り上げている)	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		陶磁器団体からの負担金と町からの補助金、駐車場収入で歳入を確保している。来場者の動向で収入額が増減するので不安定な状況。陶磁器関連事業者の経営状況から判断すると、陶磁器関連団体からこれ以上の負担金の増額は極めて困難と予想される。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下		<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	33万人を集客する町最大のイベントも、ただやきものが安く買えるイベントという概念から脱却し、エンターテインメント性を持たせた来場者が楽しめるイベントとして継続し、これまで以上に波佐見焼と波佐見町の知名度向上のためPRも強化していきたい。				